

豊浦町未来創造シンポジウム

第6次 豊浦町総合計画（平成30年度～）

策定に向けた方向性

【目次】

- 総合計画とは？ …… P. 1～5
- 豊浦町の現状と課題 …… P. 6～10
- 総合計画策定の方向性 …… P.11～14
- 策定に向けて …… P.15～16

【総合計画とは？】

総合計画とは、

- 私達が住む“まち”をどんな“まちにするのか、**まちの将来像**を示し、
そのために**だれが、どんなことをしていくのか**を、**総合的・体系的にまとめ**たもの
⇒ **町のインフラ、医療福祉、環境等といったすべての計画の基本**となるもの



いわば
町のまちづくりを
進めていくための
「道しるべ」「憲法」

※インフラ：学校、病院、道路、公営住宅、公共交通、上下水道などの、社会的経済・生産基盤を形成するものの総称

安心して暮らせる
“まち”にしたい

にぎわいのある
“まち”にしたい

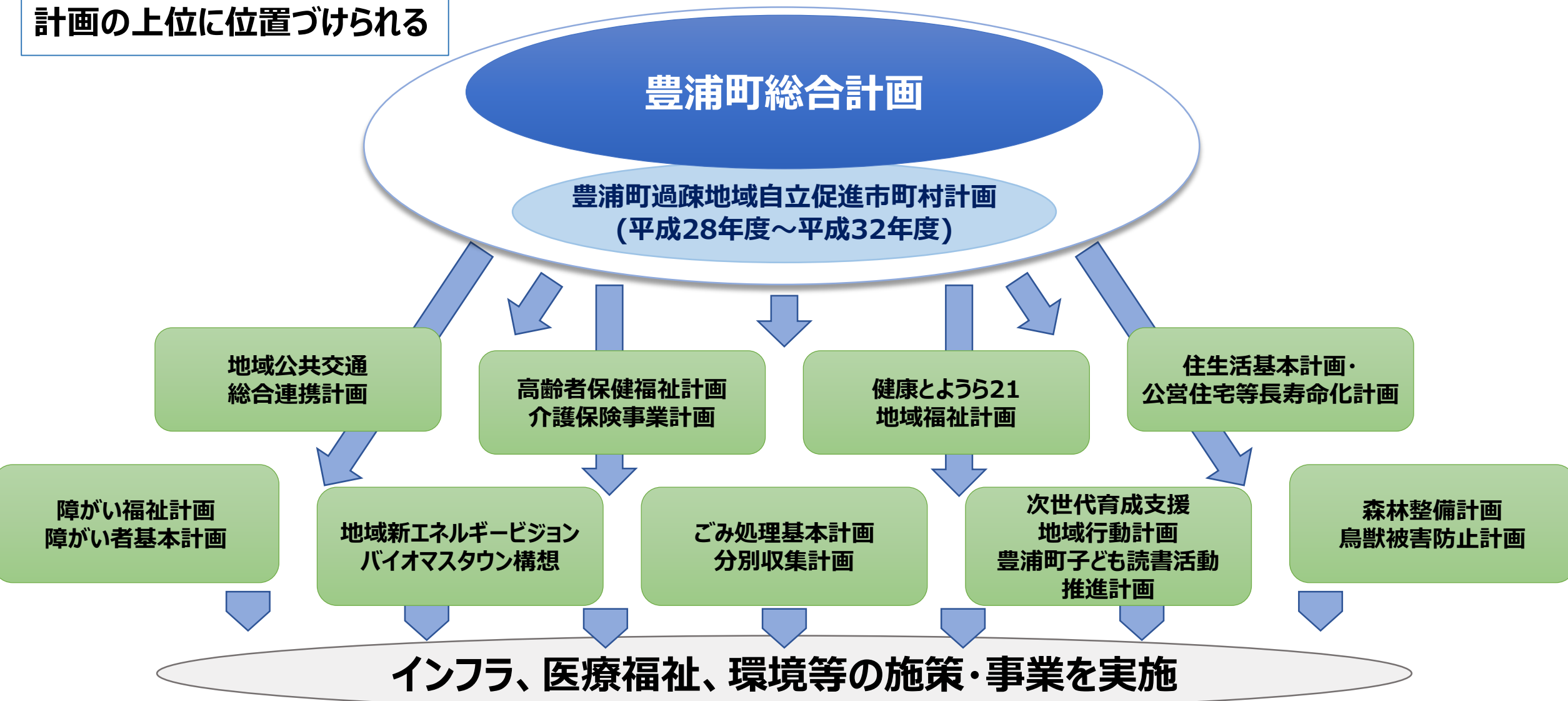
子育てしやすい
“まち”にしたい

自然を大事にする
“まち”にしたい



市民活動が盛んな
“まち”にしたい

総合計画は、すべての分野の計画の上位に位置づけられる



※インフラ：学校、病院、道路、公営住宅、公共交通、上下水道などの、社会的経済・生産基盤を形成するものの総称

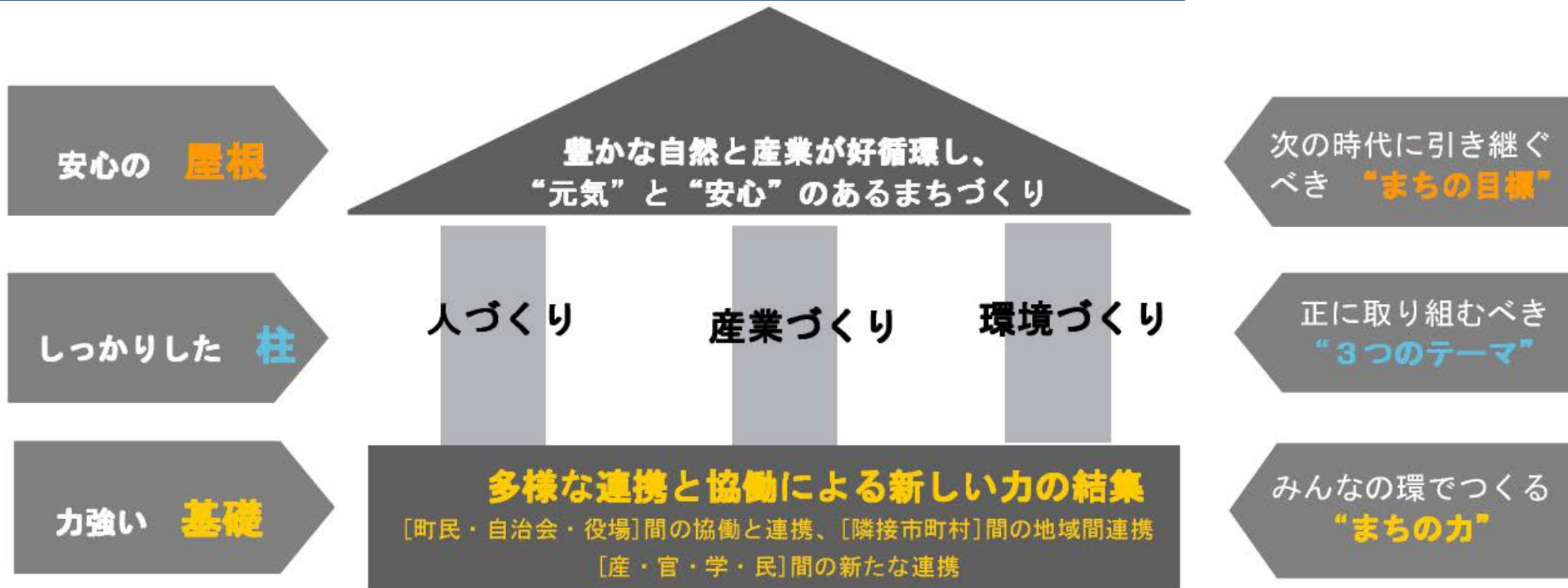
これまで、およそ10年単位で総合計画を策定・実施

第5次豊浦町総合計画
(平成20年度～平成29年度)

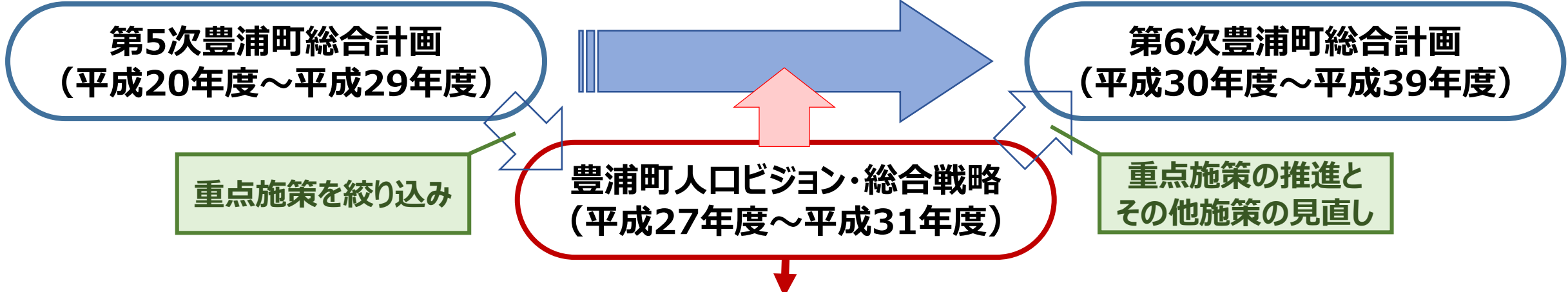
第6次豊浦町総合計画
(平成30年度～平成39年度)

目指す“まち”の将来像 ～キャッチフレーズ～

豊かな自然と産業が好循環し、“元気”と“安心”のあるまちづくり



今回の策定は、国の地方創生施策に伴う「豊浦町人口ビジョン・総合戦略」も踏まえたものに



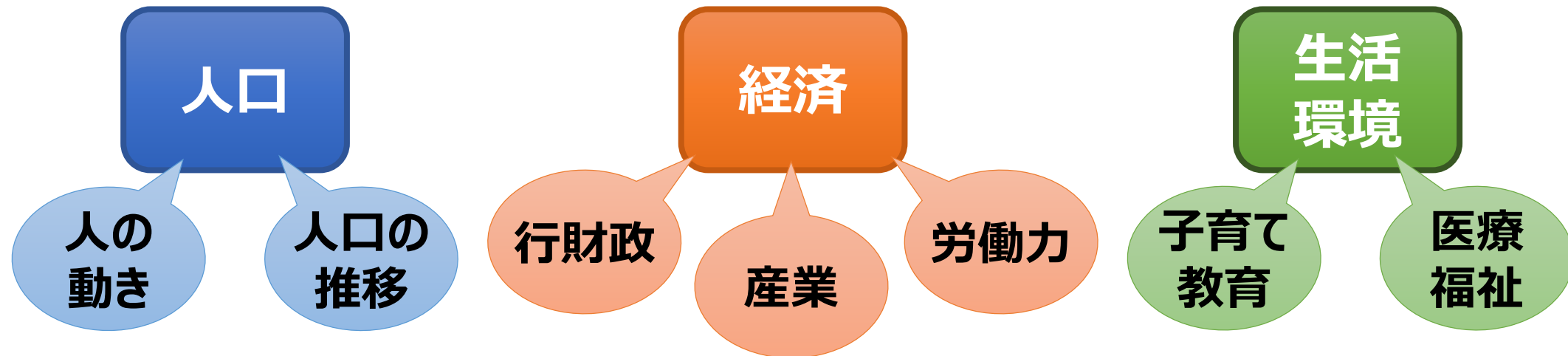
基本 目標	【基本目標1】 一次産業の強化や新たな価値創出により雇用を確保し、誇りを持って、働き続けたいまちづくりを実現する	【基本目標2】 生活環境の充実により、快適に住み続けたいまちづくりを実現する	【基本目標3】 都市圏からの人の流入・移住促進に向けて、働きたい、住んでみたい魅力あるまちづくりを実現する	【基本目標4】 エネルギーの地産地消・循環型地域を目指し、安心して暮らせる自立・持続するまちづくりを実現する
	人口 将来 展望	【合計特殊出生率】 2030年まで=1.80を維持 2030年から=2.10を維持		【社会増減】 転入促進による、転出入均衡
2060年に2,847人 (社人研推計に比べ約1,150人多)				

【豊浦町の現状と課題】

総合計画は、すべての分野の計画の上位に位置づけられるもの



すべての分野について、町の状況を網羅的に把握し、
どのような町の将来像を目指すのかを検討するための情報が重要



人口

- 豊浦町の人口は、2016年12月末で **4,153人（1960年の約40%）**
- 特に、年少人口及び生産年齢人口の減少が顕著で、**老年人口は、2010年の時点では3人に1人。**
- 豊浦町の社会動態（転入－転出）は、伊達市及び札幌市との間での転出入が多く見られる。
- 豊浦町の人口減少は **自然減＋社会減。**
- 豊浦町人口ビジョンにおいて、出生率と社会増減の目標の達成に向けた施策を推進して人口減少を抑制する目標を立てている。

2060年時の人口：
⇒このままだと**1,686人（今の約39%）**
⇒**2,847人を目指す（今の約66%）**

